



ふれあいネットワーク

北九州市社協だより

発行 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会

令和8年
7/1号

こちらからも
校区の情報をチェック!!



あなたのまちの
校(地)区社協

ふれあいの街 大蔵第三地区 声かけ 目配り 支え合い



八幡東区 大蔵第三地区社会福祉協

【校(地)区社協の概要】

大蔵第三地区社協 [検索](#)

設立：昭和39年

人口：2,294人

世帯数：1091世帯

高齢化率：50.6%

活動拠点：大蔵市民センター

会長：西村 勤 氏

福祉協力員：10人

ニーズ対応員：29人

民生委員・児童委員：5人

大蔵第三地区は、八幡東区の南部に位置し大蔵川の東側に沿った平地と丘陵地からなる地域で、その大部分が細長い傾斜地です。大蔵川は江戸時代に豊前国と筑前国との国境でした。昭和初期には、俳人種田山頭火もしばしば訪れた、歴史と文化が薫る緑豊かな街です。

誰もが安心して暮らせる街を目指して

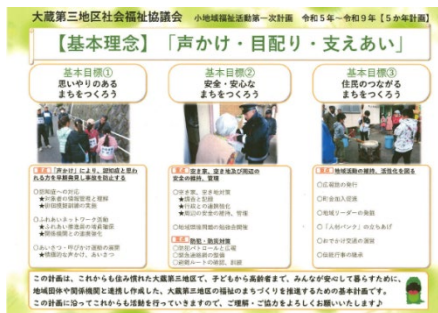
大蔵第三地区では平成21年(2009年)より、気になる世帯をより細かく見守れるよう福祉協力員の他、各町内エリアに『ふれあい推進員』を配置し「ふれあいネットワーク活動」(見守り・話し合い・助け合い)の充実を図り、社協・民生委員・老人クラブが三位一体となり、活動を推進してきました。



見守り訪問では生活に役立つ情報が共有されます

わたしたちのまちの福祉プラン策定

地区の様々な困りごとの解決を目指し、住民や民間団体が将来の見通しをもって活動するための小地域福祉活動計画として、「住民発 わたしたちのまちの福祉プラン」を策定し、令和5年度(2023年)から推進しています。



福祉プラン
概要版

小地域福祉活動計画の推進

小地域福祉活動計画に上げた「人材バンク(住民の能力や才能を生かし地域福祉活動に協力してもらうしくみ)」の立ち上げを目指し、まず住民のニーズ把握を行いました。ニーズ把握の結果、生活支援の「お助け隊」の立ち上げを検討することになり、先行地区の若松区藤ノ木校区社協との意見交換会を行い、そのノウハウを取り入れさせてもらい、しくみを構築しました。

『大蔵お助けたい』実働!!



2025年7月、生活支援活動「大蔵お助けたい」がいよいよ実働を開始しました。活動は“最初から完璧を目指さず、できる範囲で小さく始める”という方針でスタート。地域の状況に合わせながら、訪問調査に町会長が同行するしくみを取り入れるなど、着実に体制を整えてきました。地域住民から「助かる」「心強い」といった声が多く寄せられ、共助の輪が少しずつ、そして確実に広がっています。

八幡東区に広がる助け合いの輪

「大蔵お助けたい」の取り組みは区内でも注目され、他地区から立ち上げに向けた相談が寄せられました。依頼を受け西村会長が活動内容を紹介したところ、今年度、新たなお助け隊が2地区で発足することになりました。

地域同士がつながり、助け合いの輪が八幡東区全体へと広がりを見せています。



市社協だよりは、
市社協公式LINEにて月2回配信中!!
HPやインスタ、YouTubeもチェック!

